

3サンハイツせけんぱな紙

第 50 号

令和8年1月1日

編集責任者
田島康弘(3-101)
作成責任者
渡邊芳憲(9-503)
編集委員
小松清明(10-501)

団地内の野草

田島康弘(3-101)

アコウ(赤榕)

別名 ジンコウボク(沈香水)

今回は野草すなわち草ではなく木の紹介です。まだ小さいので草のようです。

写真の場所は3号棟の東側の駐車場です。コンクリートの境目のわずかな土から芽を出しており、イチジクのようなアコウの実が鳥に食べられて、種が運ばれてここの芽を出したものだと思われ、意外なところでアコウの苗がよく見られます。

成木はガジュマルのようにたくさん気根を出して、大木になります。

葉を乾かして焼くとよい香りを出すので、別名のジンコウボクの名がついています。



1 月行事予定 詳細はLLかもいけ142号に

- 8日(木) ◎鴨池小学校 始業式
◎鴨池中学校 始業式
- 10日(土) ◎鴨カムお結び
12:00~13:30(提供完了次第終了) 鴨池校区公民館前松林(鴨小内)
18歳以上/300円、18歳未満/200円、未就学児/無料
- 11日(日) ◎走り初め大会 鹿児島県庁周回コース 受付・事務局・集合場所: 県庁敷地南側芝地
9:30受付開始 出走申込: LL かもいけ142号7面 QRコードで申し込んでください
- 14日(水) ◎スマホ相談会(リモート相談) 10:00~12:00 校区公民館
要予約申込: 9日午前中までにコミュ協事務局まで
- 15日(木) ◎合同リサイクル 7:30~8:00 鴨小正門/東門
◎頭いきいき!音読塾 14:00~15:30 鴨池生協クリニック5階 申込み: 片平さん(☎080-2739-3578)
- 18日(日) ◎かもいけワールドフェス2026 10:30~ 県庁前広場 詳細はLL かもいけ142号3面参照
◎竹細工教室「竹細工にチャレンジ」13:30~15:30 真砂福祉館2階支援ルーム 材料費: 200円
申込み先: 松山(☎090-7469-3316)
準備品: ノコギリ・カッターナイフ・金づち(持っていない方は事前に相談を)
- 19日(月) ◎体幹トレーニング(1回目) 鴨11:00~12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費: 500円
申込み: 片平さん(☎080-2739-3578) 2回目と同内容
- 26日(月) ◎体幹トレーニング(2回目) 鴨11:00~12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費: 500円
申込み: 片平さん(☎080-2739-3578) 1回目と同内容
- 28日(水) ◎スマホ相談会(リモート相談) 10:00~12:00 校区公民館
要予約申込: 26日午前中までにコミュ協事務局まで
◎鴨かもサロン(体幹トレーニングの簡易版) 10:00~11:20 鴨池生協クリニック1階フロア
参加費: 100円 申込み: 片平さん(☎080-2739-3578)

2 月予告

2月1日(日)~3月1日(日)

◎第34回鴨池校区文化祭

出展申込み: LL かもいけ142号6面 QRコードで申し込んでください(15日まで)

2月21日(土) ◎第6回腎臓病教室「慢性腎臓病(CKD)と薬の正しい付き合い方」 10:00~11:00

今村総合病院B棟8階 定員: 15名(先着順) 申込み: 今村総合病院☎099-251-2221(代表)

★問い合わせ・申込み等

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522

(月・水・金曜日 9:00~12:00、火・木曜日 10:00~12:00、祝日は休み)

新しい年を迎えるに

あたって思うこと

小松清明 (10・501)

新年あけましておめでとうございます。

毎年、緑地公園の岸壁から初日の出を拝んでいますが、今年はいよいよ曇り空の予想がされていて、拝めそうにありませんね。

新しい年を迎えるにあたって、皆さんはどんな抱負をお持ちでしょうか？

十人十色で色々おありでしょうが、私の抱負を述べてみたいと思います。

創刊号でも述べましたように、団地内の住民の皆さんの交流が進むことを願っております。

団地の皆さんの中には、近所付き合いが煩わしいので、それをせずに済ませられるであろうこの団地に住むことを決めたという方々もいらっしゃることは、私も承知致しております。

しかし、それでよろしいのでしょうか？

人間一人では生きていくことはできません。みんなお互いにたすけあいながら、生きていくことが必要だと思います。

先日行なわれた火災訓練には僅か十数人、団地の戸数の5%程の参加者しかありませんでした。

ボランティア清掃作業にしても然りです。

ちなみに、真砂町では定期的に町内の清掃や防災訓練を催しているそうです。

翻って、私たちの団地の状況を見たらゾツとし

ませんか？

災害はいつ起こるかわかりません。起きてからでは遅いのです。常日頃から災害を想定して訓練を怠らないことが大切です。団地から一人の犠牲者も出すことがないように防災訓練には努めて参加するようにしましょう

数年前までは、私たちの団地にも、防火管理者を中心に防災組織が作られて消火係を初めとして持ち出し係、避難誘導係等々が各棟ごとに決められていました。

いつの間にか無くなっていました。もうそのような組織は必要ないと言うことでしょうか？災害には、各個人で対処しなさいと言うことでしょうか？

最近、桜島の直下には、対象大噴火規模のマグマ溜まりがあるとされています。

もし、桜島が大噴火したら、錦江湾に面した私たちの団地は大きな被害を蒙るでしょう。そのような時のために私たちの団地でも何らかの対策を検討する必要があるのではないのでしょうか？

さて、ボランティア清掃についてですが、参加されない方々は「ボランティアとうたってあるのだから自分は参加しなくてもいい」と考えていらつしやるのではないのでしょうか？

勿論高齢で、身体が動かしづらい人や当日仕事や大切な用事がある人、体調が悪い人など、どうしても参加できない人もいらつしやるでしょう。

それにしても、団地の住民数からすると参加者の数が少なすぎはしませんかと思っております。

次回からはもっと多くの人が参加してくださいよう願っております。

自分たちが住んでいるこの団地が、いつも綺麗で、いつまでも住みやすい団地であってほしいものです。

休刊のお知らせ

渡邊芳憲 (9・503)

突然ではございますが、弊紙「3サンハイツせけんばな紙」を当分の間休刊することとしました。今号が丁度50号で、一区切りするのにもよからうということでもあります。

弊紙の編集委員でもある小松委員が上の記事の中で書いておりますように、「団地に住んで居られる皆さんの交流の一助になれば」と言うことで、始めた事業でした。

時々、住民の方々から、「毎号楽しみにしているよ」とか「長期修繕計画は必要だよな」「ここもゆくゆくは建替えだよな」、「よう調べたな」とかの言葉を頂き次号へのエネルギーにさせていただきました。

4年ちよつとではありましたが、お世話になりました。

「3サンハイツせけんばな紙」という名前は私の発案でもあり、愛着もあります。

時期はいつになるかわかりませんが、私自身も、この名前で、再び刊行したいと考えています。その時はまたよろしく願います。ありがとうございます。